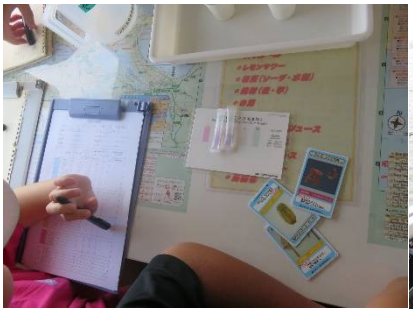
斐伊川・神戸川流域環境マップづくり　2025 年報告書

学校名・施設名等　NPO 法人しまね体験活動支援センター
担当者名　岩﨑 知久
対象河川名　宍道湖　　**実施時期**　夏

取り組み状況（湖沼環境の状況、調査での取り組み、指導者等について）

〔参加学年等〕 4～6 年生・中学生と保護者　〔参加者数〕 夏調査 子ども 11 人
【夏の宍道湖（嫁ヶ島付近）調査】8 月 3 日〈天気〉晴れ〈気温 35℃〈水温〉30℃
水質判定等の調査は公益財団法人島根県環境保健公社のスタッフ等が指導

〈１番多かった指標生物〉ヤマトシジミ 92 個体、ニッポンドロソコエビ 1 個体
〈水のきれい度〉ややきれい
透視度　90 cm
COD　5 mg/L
〈その他の生物〉ユスリカ類
貝類 カワグチツボ
甲殻類　ヤマトスピオ



子ども達の感想

（参加した子ども達の感想）

・宍道湖の水はヤマトシジミが多かったので、ややきれいだとわかった。（小 5）
・海洋ごみが分解されて細かくなる年数が、アルミかんは 200 年でペットボトルやオムツは 400 年で、つり糸は 600 年で、どれも海や湖にすてられたらすごく分解するのが大変だからすてないようにしたいと思いました。（小 6）
・川や海にゴミをすてないようにして行きたい。
・ゴミをすてないように、宍道湖の水を大切に使いたい。（小 5）
・きれいな水質のままたくさんの生物が生きている湖になってほしいと